

【展示物名】 天ヶ城歴史民俗資料館 「川と営み」 (民俗)

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

【展示物の説明および学習内容 (ねらい)】

- ☆ 「中二階の家」は、大正から昭和中期の高岡住居を復元したものである。高岡の住居には、昔の生活道具である<いろり>・<自在かぎ>・<五徳>・<白熱電球>・<めしかご>・<べんけい>等、貴重な文化財が多く展示されている。
- ☆ 「高岡を实らせた農具」では、馬に引かれて土を耕す農機具の鋤(すき)など、主に大正から昭和にかけて使われた農機具を展示している。
- ☆ 「高岡の川舟」では、江戸時代から昭和初期まで大淀川を渡るのに活躍した川舟や、船頭さんの持ち物の弁当箱(揚げ重)、煙草入れ、蓑、<あしなか>等を展示している。また、実物の1/2の大きさの<帆掛け船>を展示している。
- ☆ 小学校3年「市のようすとくらしのうつりかわり」や小学校4・5年「自然災害から命・人々を守る」に関連して、大淀川流域に位置し水害に悩まされてきた高岡での暮らしを守る工夫について学ぶことができる。また高岡で舟に荷を積み宮崎まで大淀川を下った後、その日は舟に泊まり、翌日、荷を換えて川を上っていたために仕事道具の他に自炊用具なども積んでいたことを知ることができる。

【写真】



【中二階の家 (展示室3階)】



【高岡を实らせた農具 (展示室1階)】



【高岡の川舟 (展示室1階)】

【学習指導要領】

<小学校3年> 「地域の人々の生活」

(4) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

(ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

<小学校4・5年> 「我が国の国土の自然」

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。